

菰野第二高架橋

伊勢平野の美しい景観にマッチした高架橋



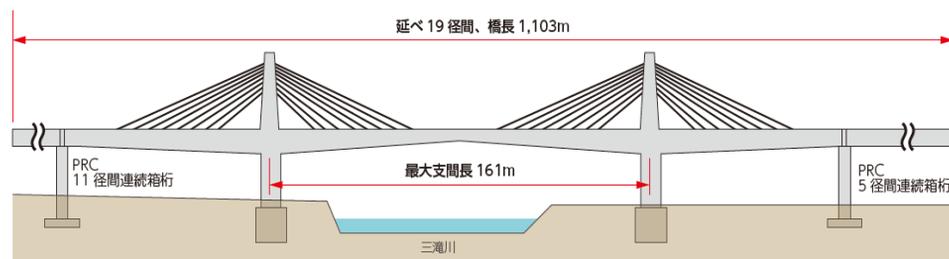
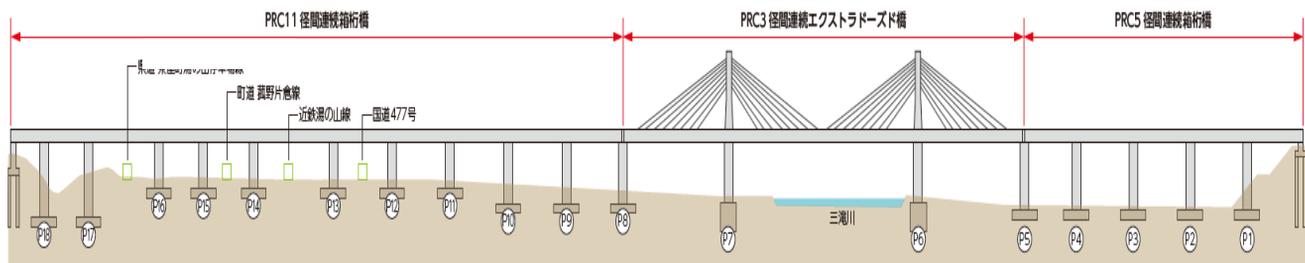
施主	NEXCO中日本
施工場所	三重県菰野町
完成年	2019年
橋長	1,103m
形式	(主橋部)上下線一体3径間エクストラード橋 (標準部)上下線分離連続箱桁
全幅	(主橋部)22.35m
最大支間	161m(エクストラード橋の中央径間)
主塔高	橋面より24m
架設方法	(主橋部)張出し架設工法 (標準部)固定式支保工 (鉄道跨線部)張出し架設工法

本橋は、架設地点は、三滝川を浅い角度で渡河するため161mのスパンが必要とされ、エクストラード形式が採用された。

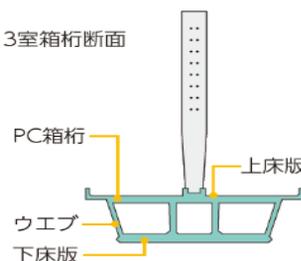
主桁断面は3室箱桁であり、斜材は中央分離帯に配置され2列平行ケーブルの1面吊り形式である。斜材は、8段のプレハブケーブルであり、最大容量は48S15.2である。これを桁側から緊張されている。

主塔部の定着は、鋼殻セルによる引張り型であり、主塔内には点検用の空間が設けられている。張り出し架設は、最大ブロック長4.5mで19ブロックである。

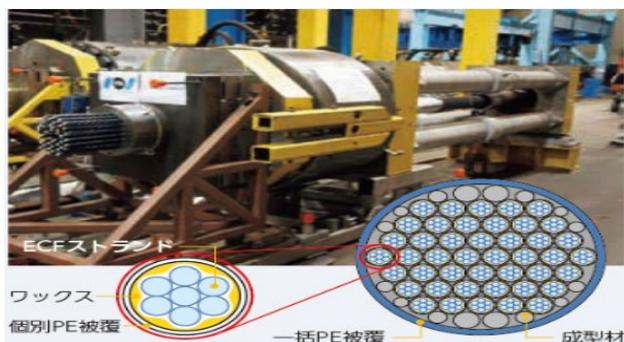
側面図



3室箱桁断面



大型ワーゲン(移動作業車)使用



48S15.2B(800tケーブル)



鋼殻の架設



鋼殻の組立



アンカーフレーム



斜材の架設



緊張ジャッキの架設